



エコアクション21 環境経営レポート

2023年度
2023年11月～2024年10月



第一緑地興業株式会社



令和6年度12月15日 作成



目次



1. 会社の概要及び対象範囲	P 1
2. 環境経営方針	P 2
3. 実施体制	P 3
4. 環境経営目標	P 4.5
1 2021年度～2023年度	2 2024年度～2026年度
5. 環境経営計画	P 6
6. 環境経営目標の実績	P 7
7. 環境経営計画の取組結果の評価、今後の取組	P 8
8. 環境関連法規等の取りまとめと遵守評価	P 9
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P 10

1. 会社の概要

会社概要

会社名	第一緑地興業株式会社
所在地	本社：〒444-0007 愛知県岡崎市大平町字八ツ幡73番地1 土場：〒444-0007 愛知県岡崎市大平町字建石53
代表者	代表取締役 鈴木 鉄也
設立	昭和53年12月
資本金	1,000万円
従業員数	10人
事業年度	11月～10月
環境管理責任者	代表取締役 鈴木 鉄也 TEL：090-7104-5771

事業内容	・造園工事業、肥料・農薬等の販売、照明施設・遊具の点検業務
------	-------------------------------

主要取引先	愛知県、岡崎市 野村不動産株式会社、大和ハウス工業株式会社 矢作建設工業株式会社、三井住友建設株式会社 松田建設株式会社、名鉄環境造園株式会社 京ヶ峰岡田病院、日進おりど病院
-------	---

主要な設備

機名	台数
乗用車	3
小型貨物車	3
2t ダンプトラック	1
パッカー車	2
軽四トラック	3
軽バン	3
バックホー	2
乗用芝刈り機	2
ハンドガイド草刈り機	3
草刈機	8
芝刈り機	2
チェーンソー	7
動力噴霧器	3

1. 対象範囲

認証登録対象範囲

対象範囲	第一緑地興業株式会社 本社、土場
対象活動	・造園工事業、肥料・農薬等の販売、照明施設・遊具の点検業務

2. 環境経営方針

<経営方針>

第一緑地株式会社は、地球環境の保全と管理が人類共通の最重要課題であることを認識し、企業活動をとおして「今よりもっと、未来の子どもたちに緑を」をスローガンに掲げ、企業活動のあらゆる面で地球環境の保全と管理に配慮して行動します

<行動指針>

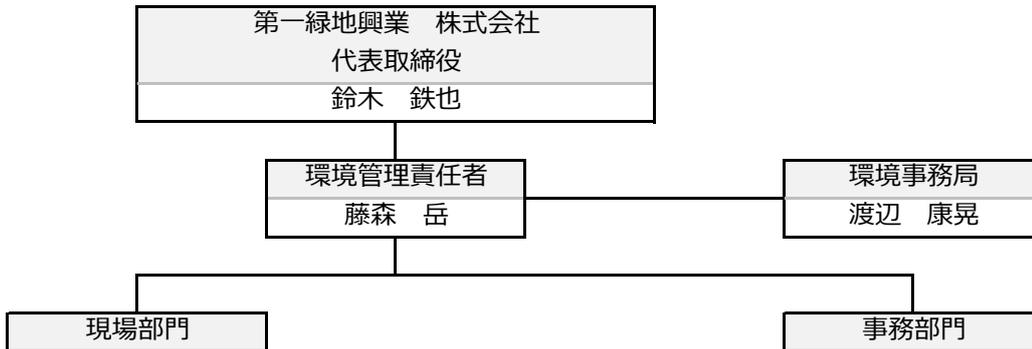
1. 環境に関する法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
2. 環境取組として重要な二酸化炭素排出量や廃棄物の削減等に関しては可能な範囲で目標を定量化して取り組みます。
3. 下記の項目に重点的に取り組み、環境汚染の予防を推進すると共に環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます
 - ① 作業工程の効率化によるエネルギー消費の削減
 - ② 作業機器メンテナンスによる機器の長寿命化
 - ③ 作業工程の効率化による消耗品部材の長寿命化
 - ④ エコ商品の購入
4. 当社は、環境教育、広報活動、地域交流を通じ、全社員及び協力会社の環境に関する理解と意識向上を図ります。

制定日：2017年5月31日

改訂日：2022年1月11日

代表取締役 鈴木鉄也

3. 環境経営システム組織図



(注) エコアクション21の活動は、全組織、全活動を対象に取り組んでいます。

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を策定し、全社員に周知する 環境管理責任者を任命する 環境経営システムに必要な資源（人材・設備・費用）を準備する 環境経営レポートの評価・承認及び次年度に向けての見直し 代表者の全体評価と見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築・運用し、常に維持・管理する 環境経営の取組状況を常に代表者に報告する 各部門長に対して、必要な計画、指示、指導等を行う EA21関連文書及び記録類の分析・維持・管理 外部からの苦情等の受付
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、 EA21推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく遵守評価の実施 環境目標・環境経営計画書原案の作成 環境経営の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 各部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応の手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

目標 作成日 2020年12月15日
 改正日 2022年11月17日
 作成者 渡辺 康晃

4 - 1 . 環境経営目標 2021年度～2023年度

・当社は、事業活動により生じる環境負荷の中でも、特に影響の大きい項目として下記事項を重点的に取り組みます

項番	環境目標	単位	項目	基準年度	2021年度		2022年度		2023年度		評価 状況*2
				2019.11-2021.10 平均	目標/実績	削減比	目標	削減比	目標	削減比	
				2021.11-2022.10	目標比	2022.11-2023.10	目標比	2023.11-2024.10	目標比		
1	二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO2 ※1	目標	55,348.66	55,071.92	99.5%	54,795.17	99.0%	54,518.43	98.5%	
			実績								
1-1	低圧電力 電気使用 量の削減	kwh	目標	2.00	1.99	99.5%	1.98	99.0%	1.97	98.5%	
			実績								
1-2	従量電灯B 電気使用 量の削減	kwh	目標	11,056.66	11,001.38	99.5%	10,946.09	99.0%	10,890.81	98.5%	
			実績								
1-3	ガソリンの使用量削 減	ℓ	目標	11,595.72	11,537.74	99.5%	11,479.76	99.0%	11,421.78	98.5%	
			実績								
1-4	軽油の使用量削減	ℓ	目標	9,065.29	9,019.96	99.5%	8,974.64	99.0%	8,929.31	98.5%	
			実績								
1-5	一般廃棄物排出量	kg	目標	211,010.00	209,954.95	99.5%	208,899.90	99.0%	207,844.85	98.5%	
			実績								
1-6	灯油の使用量削減	ℓ	目標	240.09	238.89	99.5%	237.69	99.0%	236.49	98.5%	
			実績								
1-7	都市ガス使用量削減	m ³	目標	4.03	4.01	99.5%	3.99	99.0%	3.97	98.5%	
			実績								
1-8	コピー使用量	枚	目標	54,622.00	54,348.89	99.5%	54,075.78	99.0%	53,802.67	98.5%	
			実績								
2	水道使用量の削減	m ³	目標	52.66	52.40	99.5%	52.13	99.0%	51.87	98.5%	
			実績								
4	社会貢献度	地域社会とのコミュニケーション									
		・ 隔月管理施設(公園等)周辺の清掃									
5	環境に配慮した施工	リサイクル資材の活用									
		・ リサイクル資材の積極的な活用と提案									
6	化学物資の適正管理	在庫の適正管理									
		・ 在庫管理、発注の記録									

※1 電力のCO2排出係数は、0.444kg-CO2/kwh<リコージャパン2020年度調整後排出係数>を使用しています

※2 ○=目標比が削減比率未滿、△=削減比より+10%以内、×=削減比より、10%を超える場合

※3 産業廃棄物に関しては現場次第であり実績値は把握するが削減目標とはせず適正処理(委託含む)しリサイクル率100%を目指す。

目標 作成日 2024年12月19日
 改正日 2024年12月19日
 作成者 渡辺 康晃

4 - 2 . 環境経営目標 2024年度～2026年度

・当社は、事業活動により生じる環境負荷の中でも、特に影響の大きい項目として下記事項を重点的に取り組みます

項番	環境目標	単位	項目	基準年度	2024年度		2025年度		2026年度		評価 状況*2
				2019.11-2021.10 平均	目標/実績	削減比	目標	削減比	目標	削減比	
					2024.11-2025.10 目標比	2025.11-2026.10 目標比	2026.11-2027.10 目標比				
1	二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO2 ※1	目標	55,887.00	55,607.56	99.5%	55,328.13	99.0%	55,048.69	98.5%	
			実績								
1-1	低圧電力 電気使用 量の削減	kwh	目標	-	-	-	-	-	-	-	
			実績	0.00							
1-2	従量電灯B 電気使用 量の削減	kwh	目標	9,916.00	9,866.42	99.5%	9,816.84	99.0%	9,767.26	98.5%	
			実績								
1-3	ガソリンの使用量削 減	ℓ	目標	12,410.07	12,348.02	99.5%	12,285.97	99.0%	12,223.92	98.5%	
			実績								
1-4	軽油の使用量削減	ℓ	目標	8,434.75	8,392.58	99.5%	8,350.40	99.0%	8,308.23	98.5%	
			実績								
1-5	一般廃棄物排出量	kg	目標	265,750	264,421	99.5%	263,093	99.0%	261,764	98.5%	
			実績								
1-6	灯油の使用量削減	ℓ	目標	324.02	322.40	99.5%	320.78	99.0%	319.16	98.5%	
			実績								
1-7	都市ガス使用量削減	m ³	目標	1.70	1.69	99.5%	1.68	99.0%	1.67	98.5%	
			実績								
1-8	コピー使用量	枚	目標	61,124.00	60,818.38	99.5%	60,512.76	99.0%	60,207.14	98.5%	
			実績								
2	水道使用量の削減	m ³	目標	42.00	41.79	99.5%	41.58	99.0%	41.37	98.5%	
			実績								
4	社会貢献度	地域社会とのコミュニケーション									
		・ 隔月管理施設(公園等)周辺の清掃									
5	環境に配慮した施工	リサイクル資材の活用									
		・ リサイクル資材の積極的な活用と提案									
6	化学物資の適正管理	在庫の適正管理									
		・ 在庫管理、発注の記録									

※1 電力のCO2排出係数は、0.444kg-CO2/kwh<リコージャパン2020年度調整後排出係数>を使用しています

※2 ○=目標比が削減比率未滿、△=削減比より+10%以内、×=削減比より、10%を超える場合

※3 産業廃棄物に関しては現場次第であり実績値は把握するが削減目標とはせず適正処理(委託含む)しリサイクル率100%を目指す。

5. 環境経営計画

環境経営計画		取組内容	取組部署	
1	0	二酸化炭素排出量の削減	電気、ガス、ガソリン等それぞれの 使用量の削減を目標に総合的に 二酸化炭素排出量を削減	全組織
	1-1・1-2	電力使用量の削減	空調設定の管理(夏27℃、冬22℃) 不要な照明、空調のスイッチオフ 空調時は、窓を閉め、空調効率を高める	全組織
	1-3～1-7	燃料(ガソリン・軽油)	エコドライブ実施・走行距離の最短化 適切な車両設備・機器使用の効率化	全組織
		一般廃棄物排出量	廃棄物の分別を徹底する	
		灯油・都市ガスの削減	使用後のガス栓閉塞	
	2	水道使用量の削減	蛇口の確実な止水 出しっぱなし禁止	全組織
3	社会貢献活動	隔月管理施設(公園等)周辺清掃	現場部門	
4	環境に配慮した施工	リサイクル資材の活用と利用の提案	現場部門 事務部門	
5	化学物質の適正管理	規定使用量の遵守 使用薬剤、使用量の記録	事務部門	
6	作業機器メンテナンスによる長寿命化	月メンテナンス 半年ごとの整備	現場部門	
7	作業工程の効率化による 消耗品部材の長寿命化	適時行う	全組織	
8	エコ商品の購入	あいくる材等の購入	事務部門	

環境管理責任者及び事務局は

取り組み内容を、6ヶ月毎に確認、評価し、必要に応じて見直しをする。

目標 作成日 2020年12月15日
 確認日 2024年12月15日
 作成者 渡辺 康晃

6. 環境経営目標の実績

・当社は、事業活動により生じる環境負荷の中でも、特に影響の大きい項目として下記事項を重点的に取り組みます

項番	環境目標	単位	項目	基準年度	2021年度		2022年度		2023年度		評価 目標達成 状況*2
				2019.11-2021.10 平均	目標/実績	削減比	目標	削減比	目標	削減比	
					2021.11-2022.10	目標比	2022.11-2023.10	目標比	2023.11-2024.10	目標比	
1	二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO2 ※1	目標	55,348.66	55,071.92	99.5%	54,795.17	99.0%	54,518.43	98.5%	△
			実績	0.00	54,194.54	98.4%	52,252.30	95.4%	55,887.00	102.5%	
1-1	低圧電力 電気使用量の削減	kwh	目標	2.00	1.99	99.5%	1.98	99.0%	1.97	98.5%	○
			実績	0.00	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.00	0.0%	
1-2	従量電灯B 電気使用量の削減	kwh	目標	11,056.66	11,001.38	99.5%	10,946.09	99.0%	10,890.81	98.5%	○
			実績	0.00	11,435.00	103.9%	9,595.00	87.7%	9,916.00	91.0%	
1-3	ガソリンの使用量削減	ℓ	目標	11,595.72	11,537.74	99.5%	11,479.76	99.0%	11,421.78	98.5%	△
			実績	0.00	11,992.40	103.9%	11,290.83	98.4%	12,410.07	108.7%	
1-4	軽油の使用量削減	ℓ	目標	9,065.29	9,019.96	99.5%	8,974.64	99.0%	8,929.31	98.5%	○
			実績	0.00	7,933.61	88.0%	8,434.75	94.0%	8,434.75	94.5%	
1-5	一般廃棄物排出量	kg	目標	211,010.00	209,954.95	99.5%	208,899.90	99.0%	207,844.85	98.5%	×
			実績	0.00	195,920.00	93.3%	181,600.00	86.9%	265,750.00	127.9%	
1-6	灯油の使用量削減	ℓ	目標	240.09	238.89	99.5%	237.69	99.0%	236.49	98.5%	×
			実績	0.00	234.00	98.0%	272.00	114.4%	324.02	137.0%	
1-7	都市ガス使用量削減	m ³	目標	4.03	4.01	99.5%	3.99	99.0%	3.97	98.5%	○
			実績	0.00	3.70	92.3%	2.90	72.7%	1.70	42.8%	
1-8	コピー使用量	枚	目標	54,622.00	54,348.89	99.5%	54,075.78	99.0%	53,802.67	98.5%	×
			実績	0.00	57,534.00	105.9%	42,825.00	79.2%	61,124.00	113.6%	
2	水道使用量の削減	m ³	目標	52.66	52.40	99.5%	52.13	99.0%	51.87	98.5%	○
			実績	0.00	50.00	95.4%	43.00	82.5%	42.00	81.0%	
4	社会貢献度	地域社会とのコミュニケーション									○
		・ 隔月管理施設(公園等)周辺の清掃									
5	環境に配慮した施工	リサイクル資材の活用									○
		・ リサイクル資材の積極的な活用と提案									
6	化学物資の適正管理	在庫の適正管理									○
		・ 在庫管理、発注の記録									

※1 電力のCO2排出係数は、0.444kg-CO2/kwh<リコージャパン2020年度調整後排出係数>を使用しています

※2 ○=目標比が削減比率未滿、△=削減比より+10%以内、×=削減比より、10%を超える場合

※3 産業廃棄物に関しては現場次第であり実績値は把握するが削減目標とはせず適正処理(委託含む)しリサイクル率100%を目指す。

7. 環境経営計画の取組結果の評価、今後の取組(2023年度)

環境経営計画		取組内容	取組部署	評価	今後の取組	
1	二酸化炭素排出量の削減	電気、ガス、ガソリン等それぞれの 使用量の削減を目標に総合的に 二酸化炭素排出量を削減	全組織	△	仕事量の増加に伴い、処分量が増えてしまい 目標を超えてしまった	経過観察していきたい
	1-1 1-2	電力使用量の削減	全組織	○	適切に行うことができた	来年度も節電を呼びかけて継続していく
				○	適切に行うことができた	
				○	適切に行うことができた	
	1-3 ~ 1-7	燃料(ガソリン・軽油)	全組織	△	仕事量の増加に伴い、ガソリンの使用量も増えてしまっ	経過観察していきたい
				○	配車を考え無駄に車両を出さないようにできた	
一般廃棄物排出量		×		仕事量の増加に伴い処分量が大幅に増加	経過観察していきたい	
灯油・都市ガスの削減	使用後のガス栓閉塞・暖房器具の併用	×	灯油の使用量が増えてしまった	例年の結果を見ていくと目標の見直しも必要と感じる		
2	水道使用量の削減	蛇口の確実な止水 出しっぱなし禁止	全組織	○	昨年度に引き続き適切にできている。	来年度も継続実施
3	社会貢献活動	隔月管理施設(公園等)周辺清掃	現場部門	○	昨年度に引き続き適切にできている。	来年度も継続実施
4	環境に配慮した施工	リサイクル資材の活用と利用の提案	現場部門 事務部門	○	使用する砕石はリサイクル砕石をしようした 草刈機のトップソーも研ぎなおしをするようにした	来年度も継続実施
5	化学物質の適正管理	規定使用量の遵守 使用薬剤、使用量の記録	事務部門	○	適正に管理されている。	来年度も継続実施
6	作業機器メンテナンスによる長寿命化	月一メンテナンス 半年ごとの整備	現場部門	○	適正にメンテナンスされている。	来年度も継続実施
7	作業工程の効率化による消耗品部材の長寿命化	適時行う	全組織	○	作業の効率化、消耗品部材の長寿命化は心掛けができています。	来年度も継続実施
8	エコ商品の購入	あいくる材等の購入	事務部門	×	エコ商品を使用する機会がなかった。	意識徹底は図る。

8. 環境関連法規取りまとめと遵守評価

関係する法律		適用される要求項目	遵守
大気	自転車NOXPM法	<input type="checkbox"/> 自動車排出窒素酸化物等の排出抑制に努める	○
	オフロード法	<input type="checkbox"/> 基準適合表示が付された特定特殊自動車の使用義務	○
水質・土壌	下水道法	<input type="checkbox"/> 下水道使用開始の届出	○
		<input type="checkbox"/> 水質基準の順守	○
	農薬取締法	<input type="checkbox"/> 無登録農薬の使用禁止	○
		<input type="checkbox"/> 農薬使用基準の順守(有効期限、使用・保管状況の記録)	○
廃棄物	廃棄物処理法	<input type="checkbox"/> マニフェストの適正管理	○
		<input type="checkbox"/> 産業廃棄物管理票の報告義務	○
		<input type="checkbox"/> 委託基準の順守	○
		<input type="checkbox"/> 産廃業者の現地調査	○
	建設リサイクル法	<input type="checkbox"/> 特定建設資材の分別解体・再資源化等の実施	○
騒音・振動	騒音規制法	<input type="checkbox"/> 特定建設作業(バックホー、トラクタショベル等)の実施の市町村への届出	○
	振動規制法	<input type="checkbox"/> 特定建設作業(ブレーカー、杭打機等)の実施の市町村への届出	○
県等の条例	○愛知県条例	<input type="checkbox"/> 廃棄物の適正な処理(適切な産業廃棄物業者との契約)	○

1) 違反について

関係当局よりの違反等の指摘も過去3年間ありません。また、内部評価においても法令等の違反が無いことを確認しました。

2) 訴訟・苦情について

地域住民からの苦情も訴訟等過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果

【代表者は全体見直しに必要な情報を収集、環境管理責任者に報告を求め
システムの有効性・取組の適切性を評価する】

保存期間 : 5年
環境管理責任者による見直しに必要なコメント 作成者 : 環境管理責任者 藤森 岳
作成日 : 2024年 12月15日

1. 環境経営目標とその達成状況

- ・達成(8件)
 - ・未達成(7件) ガソリン、一般廃棄物など
- 未達成が続くものについては目標が適切なのか調査を行う

2. 環境経営計画の実施状況

- ・取組に問題 有 無
- 引き続きエコに気を配っていきたい

3. 環境関連法規の見直し・遵守状況

- ・見直し 有 無
- 遵守状況 良好

代表者による変更の必要性の判断・指示

評価者 : 鈴木 鉄也
記載日 : 2024年 12月 15日

総論

一部目標が適切なのか調査を行うように指示をした

<評価結果> 1. 環境経営システム 有効に機能している ・ 機能していない
2. 環境への取組み 適切 ・ 一部適切でない

<変更判断・指示> 1. 環境経営方針の変更 有 ・ 無
2. 環境経営目標の変更 有 ・ 無
3. 活動経営計画の変更 有 ・ 無
4. 環境経営体制の変更 有 ・ 無

・変更の理由 目標については、実態を加味して適正に定める。

<環境管理責任者への指示>

引き続き従業員にエコに対するの行動を意識するように徹底させてほしい